

# ビー通信

2014年  
5. 27  
発行  
通巻12号

## つつかいぼう二十五周年記念公演

三月一日(土)に「障害者自立センターつつかいぼう設立二十五周年記念 講演と映画の集い」が行われました。

ビー・カンパニーのメンバーは、研修として参加をしました。

牧口一二さんの「地域で生きる」講演会では、「雨」と「障がい者」は似ている話が出ました。雨は、疎ましく思つたり、気分が落ちたりするイメージがあります。それは障がい者も世間から遠ざけられています。しかし雨と障害者は疎ましく思われるイメージだけではなく必要とされている存在であり雨が降らなければ水を作る事が出来なくなり生活がきびしくなるので雨は大切な存在のようになれば、接したりする事によって人を癒す力を持つているので必要とされている存在であると言つていました。

目の前にある事を受け取るのではなく少し遠く離れた場所から見ると必要と感じる事が見つかるのかと思いました。



カンパニーの商品を販売し短い時間でしたが、多くの方に商品を購入していただきました。夕方からの懇親会ではオルタ食堂の食事を提供し盛大に盛り上がりました。

牧口一二さんの話を聞いてとても楽しくて、面白くて自分にとつて参考と勉強になつた。

岩崎かおり  
難しかつたが、雨と障がい者と雨は似ていると思う。世間から疎まれている。心の豊かさが無くなる。  
赤石幸久

私は障がい者いて当たり前な世界で今まで関わつてきましたが、牧口さんの雨と障がい者が似てているという事や、障がい者がいない世界はなどの話を聞き、視点を少し変えてみると違つた事が見えてくると言いますが、視点を変えた時に牧口さんのような考え方が出てくるのだろうなと思った。

### 「逃げ遅れる人々」を見ての感想

もし、私が震災に遭つたらまず、落ち着いて誰かに助けを求めます。そして、自分に必要なもの（食べるもの、ふとんの代わりになるようなものを持って）一緒に逃げようと思ひます。「逃げ遅れる人々」で私の心に響いたのは、障がい者の人が震災のせいでの家に帰れないという不安からストレス鼻血が出てしまうという場面を見てとても気の毒だと思いました。

また、仮の住まいではトイレや入浴などがすごく大変そうでした。安心できるところがい

### 逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者



いという思いに共感しました。

また、一人で電動車いすを使い、私も買いたい物に行かれる人もいたので私よりすごいと思いました。また、怖い気持ちを心にしまいこんでいた人も、ありのままに自分の気持ちを他の人に伝えるということを学びました。

新宮 有紀

この中に出てくる脳性麻痺の障がいが私と同じでもし、私が被災したら、その方のように車椅子から降ろしてくれる人がいなければ、私も同じように十六日間一人で車椅子に座つたままという状況が想像できました。私も同じ状況に置かれたとしたら、身の毛のよだつ思いがしました。

また配給の場所が非常に遠方で、配給があつても取りにいけないという事態が起こり、持つてくるよう要請してもらつてきてもらえないということがありました。行政側が支援をしなかつたのは理解不能で一人の人間として悲しいですが、こういうこともあります



また、突如として一人で生活することとなつた人の話では、私も「一人になつたらどうしよう」という思いになりました。そして、一人で知らない町を進む姿を見て怖くなりました。そして話の中で、障がいがあるから何も言わないというが出てきて私も、普段の生活から話せるのに声に出さないということがあります、声に出さないとわからないこと、声にして改善されることがあるから声に出すことが大切なだと思いました。そしてもし、自分が被災した時に繋がることだと思いました。

青木 裕麻



そこでイチゴのアイスクリームを食べて、バスでは、疲れて寝ている姿もありました。今回の日帰り旅行では三か所まわるという弾丸ツアードしたが、楽しかった日帰り旅行だつたと思います。



### まるは食堂の感想

煮魚やエビフライ、カキフライ、刺身なんかをたくさん食べた。

伊藤（ま）

量が沢山あってお刺身がとてもおいしかった

真城

はまちの刺身が一番おいしくて… 青木

カキの盛り合わせは豪華でおいしかったです。エビフライが大きくておいしかったです。

伊藤（よ）

## 日帰り旅行IN南知多

三月七日（金）に、ビー・カンパニーのメンバーで南知多へ日帰り旅行へ行つてきました。行きのバス

では景品付きのクイズゲームをし、

盛り上りりました。まるは食堂で大きなエビフライと旬の魚の刺身が付いた定食をいただきました。おいしくいただいた後、近くのおさかな市場で買い物をしました。最後に南

知多いちごの里でイチゴ狩りをし、一スペースのイチゴが無くなるぐらいたくさん食べた人もおり、また

バスでは、疲れて寝ている姿もありました。今回の日帰り旅行では三

か所まわるという弾丸ツアードしたが、楽しかった日帰り旅行だつた

## イチゴ狩りの感想

初めてだったのでもちろん楽しくて、甘くてたくさん食べられてよかったです。また行きい。

岩崎

自分でとつて食べれるから楽しめました。

赤石



苺が甘くておいしかった。お腹いっぱい食べたけど、その後ソフトクリームパフェを食べて満足で楽しかった。

紺谷

青木

おおきなイチゴでおいしかった

清水



すっぱいのとあまいのがあつたけど楽しかったよ

宇野



競技に参加しない方でも抹茶コーナーがありそこで参加されている方同士が話されている姿もありました。お昼休憩のイベントでは電動車いすダンス、じやんけん列車のゲームを行いました。ビー・カンパニーでは、毎年参加している方もいますが今回初めて参加した新宮有紀さんの感想を載せようと思います。

**カルタとり大会に参加して**

私は、今回のカルタ大会は初参加でした。始めはどういうものか分からないので見ていましたが、声をかけられたので最初の電動と介護付き車椅子部門に出ようと思いました。

たくさんカルタを取るぞ頑張るぞと思つて挑み句を読み終つてからすぐに動きました。しかし競技者のスピードが速く先にカルタを

三月三十日に岐阜メモリアルセンターのふれあいドームで第二十六回カルタ取り大会が開催されました。車いすに乗つて、縦横1mぐらいの大きなカルタを取る競技です。介護付き車いす部門、自走式車いす部門、団体別車いす部門と分かれており誰もが参加できる内容となっています。競技の時は優勝を目指し、カルタの句が読み終わつた後、絵札に向かって走つていくので、車いす同士ぶつかつてしまふような白熱した競技をしていました。



初めてだったから、イチゴが甘くいっぱい食べた

吉村



取る事が出来なかつたので、「もつと近くの札を読んでほしいな」と思いました。

2ゲーム出場しましたが1枚も取れなかつたのでとても悔しかつたです。

抹茶コーナーでは、抹茶は少ししぶかつたですが、いい香りがして気分が落ち着きました。

今回は全くとれず本当に残念な思い悔しい思いでしたが「次回があるから今は自分の中の思い出として心にしまつておこう」と思いました。

次回参加する時はスタートラインの真ん中に立ちカルタを取ろうと思ひます。

## 最近の取組み

### ピラまきを始めました

売り上げを上げていくためにビー・カンパニーの周辺地域に約二百通、商品のパンの注文書が付いているチラシを配り始めました。約一ヶ月配布をした所何軒かの反応がありました。これからも続けていきたいです。

チラシ配りをして、ただポストに入れていくだけではなく、家の前で人がいたら「パンの企画をしたので注文よろしくお願ひします」と声をかけていきながら頑張っています。自分が配った所に注文が入つた時はうれしかつたです。これからもこの調子で頑張つていこうと思います。

清水 大樹



僕は、車いすに乗っているのでポストに届かない所がありますが、今僕が担当としているマンションのポストは届くので続けていきたいと思います。  
赤石 幸久

## ビー・カンパニーメンバー全員で営業会議

一人一人が仕事への意識を高め売り上げを上げるためには、どうするのかを考えていく会議を目的として行いました。

第一回目はNHKの「バリバラ」と言う番組で障害者就労施設が工賃を上げていくために、メンバー全員でどのような取り組みを行つて見ました。見た感想を聞いていくと、工賃を上げるために通帳のコピーを全員に渡しどれくらいの売り上げがあるか報告をしている取り組み方法が勉強になつた意見や、今自分の給料は多いのか少ないのか、これからどのように取り組みをして売り上げを伸ばしていくかなど、いろんな意見が出ました。これから営業会議を行つていか一人一人の意識が高まつていけたらと思ひます。

## 編集後記

ビー・カンパニーが始まり早いこと三年目になります。自分の担当となつてゐるロウソクでは二五年度の売り上げはあまり良くなかつたです。今年度では出れるようなバザーは出店をし、お客様の反応を見ていくながら商品の改良や新商品の開発に取り組んでいくたいです。

最近の動きでは出張の講習が二件入つており、それを成功させ、そこから広げられるよう気合いを入れてやつていこうと思ひます。  
(本望)

## 編集/発行

ビー・カンパニー

住所 岐阜市古市場 79-1

Tel 058-214-8114

Fax 058-214-8447

E-mail

be-company@  
tsukkaibo.com